



白楊だより

(第47号)

令和4年9月24日

函館市時任町11-3
函館中部高等学校
白楊ヶ丘同窓会
電話 (0138)52-0303

函中の歴史と伝統



白楊ヶ丘同窓会

会長 室田

晴康

(七十五期)

白楊ヶ丘同窓会会員の皆様方におかれましては、益々のご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度、長きに渡りご尽力頂きました石井直樹前会長の後任として、伝統と歴史のある白楊ヶ丘同窓会の会長を務めさせて頂く事になりました。微力ではありますが、白楊ヶ丘同窓会会則にもある通り、会員相互の親睦融和を図り、母校教育の精神を發揮し、以って母校の発展に寄与して参ります。

私は、昭和四十五年入学で、この年大阪にて日本万国博覧会が開催されました。昭

和四十七年三年生の時に制服制度廃止、制服の自由化が実施されました。三年間柔道部に籍を置いた関係上、旧体育館の思い出も多く、解体に先立ち、平成五年に開催された

「函中旧体育館さよならの夕べ」は感慨深いものがありました。明治二十八年(一八九五)

函館尋常中学校として開校。札幌南高校も同年に尋常中学校として開校しており、周年

事業も同じ経緯を辿っております。明治三十二年函館中学校と改称される。明治三十九年元町校舎より時任校舎に移転する。現在も使われている

「函中」の呼称もこの当時からであります。

このころの函館の社会情勢は、明治二十九年函館競馬場開設。明治三十年函館馬車鉄道営業開始。明治四十一年には青函連絡船が運行を開始しています。北海道内において人口、経済状況等繁栄を期しておりました。

ここ数年の同窓会活動は、会費の徴収方法、各支部の在り方、若い人たちの同窓会離れなど幾つかの課題を抱えながら同窓会活動を続けられている現状であります。これらの課題を会員各位から知恵を頂き、少しでも同窓会活動が

活性化され、女性や若い世代にも多数参加していただけるような「明るく和やかな同窓会」にしたいと思っております。しかしながら、同窓会活動の重要事業であります総会、懇親会も令和二年より二年間中止となっております。函館は基より札幌、宮城、東京、そして関西という四支部も開

催しております。いまだ新型コロナウイルスの影響もある中、今年、総会のみ開催し、懇親会は中止することと致しました。総会終了後各期でより一層の親交を温めて頂きたいと思っております。今後、今まで通りの総会、懇親会が開催できるように願うばかりです。

● 副会長就任の挨拶 ●

片岡 格

(七十五期)

白楊ヶ丘同窓会の皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。今年度から副会長に就任いたしました片岡と申します。

この度、歴史ある母校同窓会の副会長という大任を任せられ、その責任の重さに身が引き締まる思いでありますとともに、同窓会のために少しでも力をなればと改めて意を強くしております。

私にとって高校時代の思い出はいつまでも色あせないものであります。部活での喜びや悔しさ、級友達と参加した各種行事、制服私服化の全校集会等々、沢山の思い出が

今でも鮮明に浮かびます。皆さんもそれぞれ高校時代の忘れられない思い出を心に刻んでおられると思います。そしてこれからも多くの子供達が私達と同じ経験をして、同じように心の中に自分のアルバムを作っていくことでしょう。

我々同窓会はそうした子供達を暖かく見守ってあげたいと思っております。どうぞ皆さんも、思い出を、仲間を、そして母校と子供達を大切にしていってください。

最後に皆様のご健勝とご多幸を祈念し、就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

学校の近況等について



北海道函館中部高等学校

校長 佐竹 卓

室田会長様をはじめ、白楊ヶ丘同窓会の皆様には日頃より本校の教育活動へのご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

コロナ禍の学校生活も三年目を迎えましたが、六月に入って函館市内の感染状況が減少傾向にあり、基本的な感染対策をしっかりと行いながら、通常の学校生活に近い形で教育活動を進めることができました。

理科では、推薦入学を実施し、面接、作文等を行うなかで、科学的現象に興味・関心を持ち、理科や数学等の専門性を高め、その専門性を将来にわたって追究しようとするスペシャリストを育成していきたいと考えています。

今年度の夏休み期間中の八月九日には、理科の一年生が筑波宇宙センターJAXAの研究施設を訪問し、最先端の宇宙科学について学びを深めるとともに、翌十日には、学ぶ意欲を更に高めるために本郷の東大キャンパス訪問を行う予定です。

紙面をお借りして、学校の近況等についてお話しさせて頂きます。

(一) 理数科の設置

本校は、今年度から新たに理数科が設置されました。一年生の学科の構成は、普通科が四クラス、理数科が一クラス

文部科学省より「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定を受けて、今年度で三年目を迎えており、全学年を通してSSHの取組

を進めています。

具体的には、一年次には大がで、大沼国定自然公園の自然環境調査を行い、探究活動を進める上で必要な研究方法と発表方法を学んでいます。

二年次では、それぞれの興味・関心に基づいて自ら立てた研究テーマに対して、科学的アプローチに基づいて、調査・研究活動等を行い、その結果をまとめてプレゼン発表を行っています。

三年次では、一、二年の学びを踏まえて取り組んだ各自の探究活動を論文にまとめます。さらに、研究成果を英語で発表することで、世界に通じる科学リテラシーや英語力を養っています。

本校のSSHの進め方等について、外部の方からご意見やご助言等をいただく運営指導委員の先生方が八名いらっしゃいますが、その中の東京

大学大学院総合文化研究科の松田恭幸教授、室蘭工業大学システム理化学の庭山聡美教授、京都産業大学生命科学部の寺地徹教授のお三方は本校の同窓生でもあり、様々な視点からご指導をいただいているところ です。

(三) 令和三年度卒業生の進路状況

この春に卒業した二二三三名の進路状況についてお知らせします。

- ・国立大学延べ一五一名 (昨年度一四六名)
- ・私立大学 延べ二三六名
- ・高等看護延べ一二名
- ・専修学校二名
- ・就職一名

国立大学一五一名の現役合格は、卒業生の六四・八％という数字であり、昨年度に引き続き過去最高の合格率となりました。

また、私立大学においても、早稲田、慶應、明治、法政、立教、中央、上智、青山学院、東京理科大学など難関大学にも多数の合格者を出しており、コロナ禍においても、たゆまぬ努力を継続した生徒たちの健闘を高く評価したいと思います。

定時制課程においては、卒業生七名のうち、短期大学一名、専門学校三名、就職三名(アルバイト含む)となっております。

(四) 部活動

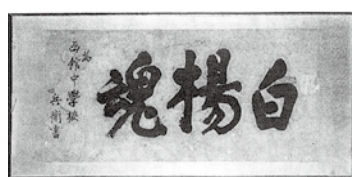
部活動においては加入率が九〇％を超える中、テニス部、陸上部、剣道部、柔道

部、バスケットボール部、弓道部、卓球部、水泳部、放送局など多くの部活動が全道大会へ出場しました。その中で、陸上部、弓道部、水泳部が八月に四国で行われる夏のインターハイへ出場します。また、放送局も全国大会へ出場を決めました。

(五) 結びに

本校は、「高い志をもち、次世代を創造する人間の育成」を学校教育目標に掲げています。この学校教育目標を達成するため、「白楊魂」に象徴される函中生としての誇りを大切にして、未来を見据えた教育活動に積極的に取り組んで参ります。

同窓生の皆様にはこれからも本校へのご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、白楊ヶ丘同窓会の益々のご発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、学校の近況の報告とさせていただきます。



支部だより

函中・白楊ヶ丘同窓会は本部の他に札幌支部・宮城支部・東京支部・関西支部の4支部が白楊魂の絆を深めるため、精力的に活動しています。会員の皆様もぜひ各支部の総会・懇親会へご参加下さい。



旧校舎

札幌支部の近況

札幌支部長 黒田 信彦
(七十二期)



令和四年
度も引き続き
きコロナウ
イルスの関
係で白楊ヶ

丘同窓会札幌支部総会・懇親会を中止にし、会報の発行も年会費の徴収も三年連続でストップしたままです。この状況では今後益々同窓会への関心が薄まっていくことが想定され、その打開策について役員会で検討を重ねてきました。これまで札幌支部にはホームページがなかったことから同窓会の活動内容などについて調べる手段がなく、母校の近況報告や同窓会の活動内容を少しでも理解して頂き関心を高めてもらう必要があることから、役員会においてホームページの作成を検討することになりました。当支部では九十二期の牧野副支部長にお仕事の関係からホームページ制作に関わる叩き台となる資料を作成していただき、先日役員会で多角的に検

討を始めました。具体的にはホームページ制作費用や掲載する内容など今後詳細に煮詰めていくことになりました。ホームページによりこれまで同窓会に余り関心がなかった方や、若い同窓会員の方々に対して簡単に情報を共有しながら少しでも支部活動に参加していただき、同窓会の輪が広がるきっかけになればと思っております。役員会としましては次年度の支部総会までにお諮りする予定です。次年度こそ何とか総会・懇親会を開催したいと思っておりますが、こればかりは何とも予定が立たない状況です。

宮城支部の近況

宮城支部長 近藤 弘
(七十六期)



近藤丘前
支部長の後
任として、
昨年より白
楊ヶ丘同窓

会宮城支部長を務めさせていただくことになりました。私は、昭和四十九年卒業、

七十六期になります。

私自身は、生まれも高校卒業までの育ちも函館市です。就職後、勤務の都合などで仙台市にまいり、縁あって仙台に自宅を構えることになった次第です。

ここで、三年目を迎えたコロナ禍の中での、宮城支部の近況などについて、簡単にふれさせていただきます。

様々な行動制限などがある中、対面での活動が困難なことは言うまでもありません。そこで当支部では、昨年は対面での総会の開催に代えて、返信用の葉書を使った書面方式の総会決議を行い、支部長を含む役員の変更などを行っております。

ウィズコロナやニューノーマルなどと言われる中、最近では久しぶりの夏祭りの開催など明るい話題も少しずつ増えてきてはいますが、一方で、この原稿を書いている八月上旬の時点では、コロナの第七波が猛威をふるっており、宮城県内でも感染者数が、これまでにならない数で高止まりしているという現実もあります。

そうした中で、今年の宮城支部の対面での総会及び懇親会の開催は、まだ決まっています。はいませんが厳しいものがあ

るかと思えます。

来年こそは、コロナ前の正常な対面での総会及び懇親会を、久しぶりに笑顔で開催できることを、心から願ってやみません。宮城支部は少ない人数ではありますが、和気藹々とした雰囲気大切に努めていきたいと思っております。

今後とも函館本部及び各支部の一層のご指導とご支援をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、コロナ禍の中、普通の学校生活がごせなかつた卒業生、不安を抱えながら学業に励んでいる在校生、そして生徒達を懸命に支えておられる教職員の方々に、せめてこの紙面を借りて心からのエールを送りたいと思います。



東京支部の近況

東京支部長 白川正広

(七十六期)



日頃より、当東京支部へのご支援に厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスについての各種規制は一定程度緩和されてきましたが、依然として毎日多くの新規感染者が報道されています。同窓会活動は、本来、「世代を超えた大勢の仲間が一同に会し、大いに飲食し、お互いに語り合う場」を提供するものですので、「三密」の条件がそろっていません。したがって、多くの活動を自粛せざるを得ない状況がほぼ三年にわたり続いております。この誌面をお借りして東京支部の状況をご報告させていただきます。

会議をもち、何ができるか模索しました。結果として編集作業等の目的で集まることもできなかつたためページ数を大幅に減らした「会報」を発行するのが精いっぱいでした。

二年目の、昨年2021年も社会全体としては大きな変化はなく、相変わらず、新型コロナウイルスのための自粛を余儀なくされる状況にありましたが、何名かの役員の実務体験をもとに、「秋の大会をリモートで開催する」という方針を春の段階で決めました。

「リモート開催」のメリットを活かし、本番当日、函館から、校長先生や函館の同窓会本部の役員にご挨拶をいただくことに加えて、校舎内や屋上から見える景色の中継などを教頭先生に行ってもらいました。平成の初期に建て替えられた校舎は、関東在住の多くの同窓生にとって足を踏み入れたことがない空間であり、高校生の時に見た屋上からの景色と違った校舎内や周辺の風景も斬新なものでした。また、前年に出番がなかった「五〇歳になった期」として、九〇期の皆様に幹事期としての企画運営をお願いしました。函館在住のメンバーのご協力をいただき、函館の街

の今昔の写真から成る動画で大会を盛り上げていただきました。ご協力くださった方々にあらためてお礼を申し上げます。

肝心の参加者は、最高齢85歳から最年少35歳、総数122名でした。参加者平均年齢は61歳で、新型コロナウイルス以前のリアル開催の大会と大きく変わらない年齢分布となっております。

さて、今年の秋も、十一月五日(土)に、昨年と同様、リモート同窓会を予定しております。気軽にご参加いただいていた従来のリアル会場での方式と比べて、パソコンかスマホを使っていない方はご参加できないなどの制約はあるものの、一方では、わざわざ都心の会場まで電車に乗って移動する必要もなく、一度、接続方法を覚えたら手軽に参加することができます。昨年は函館からも幹事期を中心に何名かのご参加者がありました。口コミで、東北や関西方面、さらには海外在住の方にも参加を呼び掛けることが可能であり、同窓の輪が広がることを期待しております。今回もご参加をお待ちしております。

同窓会の形式は、皆さんも

暗唱しておられる函館中部高校の校歌の四番に「限りなき流転のなかに・・・」と歌われておりますように、時代の変化とともに形を変えていくことも、ある意味で必然なのかと思えます。今後の同窓会の運営などに関しまして、ぜひ、会員の皆様からの前向きなご意見などもいただきながら、変化する状況に適切に対応していきたくと考えております。

まだまだ制約の多いなかですが、これまで以上に函館本部及び各支部との情報交換を図っていきたくと考えております。引き続き、皆様のご支援、ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

関西支部の近況

関西支部長 寺地徹

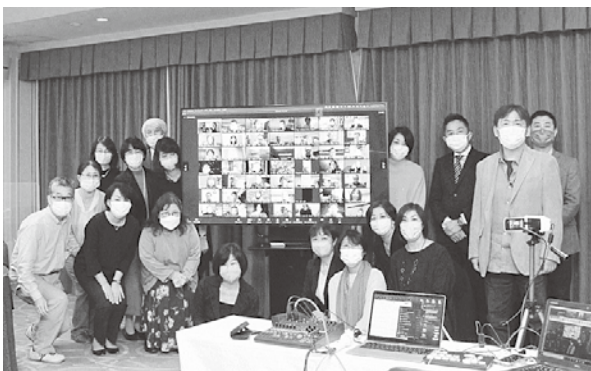
(八十一期)



令和四年度白楊ヶ丘同窓会の総会の開催にあたり、室

田会長様、佐藤幹事長様をはじめ、役員ならびに運営に携わられた皆様に、深く感謝を申し上げます。また、日頃の当関西支部へのご支援に、厚く御礼申し上げます。私は今年度より、佐藤裕三(六十三期)様から支部長を引き継ぎました八十一期の寺地徹と申します。先輩方の多い関西支部では、還暦を過ぎた八十一期でも若輩者ですが、関西地区における会員の皆様の交流のため、微力を尽くす所存ですので、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、ご存知のように、当関西支部は、長い間、故山川泰宏(五十九期)幹事長の献身的な活動により運営されて参りました。それゆえ、2020年に山川様が逝去された後は、支部自体も存亡の



危機にあったのですが、山川様のご友人の高野晃様（六十五期）が関西へお越しになり、会計を含めた残務を整理してくださいました。そのおかげで、なんとか関西支部を継続できることになり、現在は高野様（幹事・事務局担当）を中心に、支部長、副支部長、幹事、監査など新役員を選出、規約の改定、新たな会員名簿の作成など、組織の刷新をめざした活動を開始したところです。この春には、関西支部だより／増刊号28号を発行し、関西支部の方々にお配りすることができました（秋にも発行予定あり）。

新型コロナウイルスの感染拡大のため、この二年間、最大の行事である、関西白楊ヶ丘同窓の集い（総会・懇親会）は開催できておりません。感染収束の気配もなく、「集い」は今年度も開催が危ぶまれる状況ですが、支部の存続には、やはり会員がFace to Faceの関係を築くことが大切であると改めて思い知らされている昨今です。旧知の方々に加え、若い会員にもっと参加してもらうためにはどんな工夫が必要か、新役員の方々と知恵を絞ろうと思っております。最後になりましたが、白

楊ヶ丘同窓会函館本部のますの発展と会員の皆様のご

健康とご多幸を祈念申し上げます。

函中活躍の跡

函館中部高校では文武両道の精神のもとに、多くの生徒が部活動に参加しています。全道・全国大会へコマを進めた函中の生徒達の活躍を紹介します。

陸上競技部

三年四組 高橋 美空

今回徳島県で行われた全国大会に二年の小田、福田、三年の小山内、高橋で4×400mRに出場してきました。

私たちが目標としてきた三分台には届かず、私自身、体感的には良かった走りも数字で見ると良くはなく、ずっとお世話になった渡會先生に最高の恩返しをできなかったことは申し訳なく思っています。ですが、今まで感じたことのない暑さも全国という舞台で走る緊張感も、自分にとってすごく良い経験になりました。そして私たちをここまで成長させてくれた渡會先生や部活仲間、家族、応援してくださいましたすべての人々には感謝しかありません。本



当にありがとうございます。そして後輩達へ。目標に向かって自分に甘えることなく先生を信じて走り続け、インターハイへの切符を勝ち取ってください。応援しています。

弓道部

二年三組 本田 葉音

八月に徳島県で開催されたインターハイでは、慣れない



暑さに苦戦しましたが、仲間とのサポートと良い緊張に恵まれ、第一目標の予選突破を果たし、喜びを感じています。手厚く熱心にわかりやすい指導をしてくださった先輩方、弓道部ではもちろんのこと、普段の学校生活でも支え合い、高め合う二年生のみならず、様々なことを気づかせてくれた先輩たち。さらに先生方、友人、家族。このうち、一つでもその存在が欠けていたら、今の私は無かったでしょう。いつも本当にありがとうございます。

インターハイ出場は私の弓道人生の大きなポイントですが、同時に通過点でもあります。今回の学びや経験を糧に、さらなる高みを目指していきますので、これからも応援よろしくお願いします。

水泳部

三年三組 東出 海秀

僕たち水泳部は、三年生一人二年生二人一年生一人の四人で各々のクラブチームで活動しています。高体連全道大会では各々全力を尽くし、4×100メートルフリーリレーでは、三位に入賞して全国大会出場の権利を得ました。そしてインターハイでは、北海道予選会よりタイムを落としましたもの全員がベストを尽くしました。そのおかげで、私立の静修高校に勝つことができました。今年で水泳部は廃部となります。かつて先輩方が何度もインターハイに出場していた歴史ある水泳部がなくなることはとても悲しいですが、廃部記念で僕らがインターハイに出場したなんて、そんな名誉なことはないでしょう。他のどの部活よりも良い結果を残せてくれたと思います。いままで水泳部として活動させてくれてありがとうございます。

私たち放送局は八月二十八日から二十八日の三日間、東京で行われた第69回NHK杯

二年一組 木村 蒼来

放送局



全国高校放送コンテストに出場してきました。結果はテレビドキュメントで全国三位を勝ち取ることができました。去年の秋の大会では全国には届かず、とても悔しい思いをしたのでこの結果に満足しています。ですが、ここまでこれたのも私一人の力ではなく部員みんなや顧問の先生のおかげだと思います。コロナ禍ということもあり時間が限られた中で制作するのはとても大変でした。部員と協力しい顧問の先生にアドバイスをいただきながらやっとの思いで作りあげたドキュメントがこのように評価されてとても嬉しいです。来年は入ってくる新一年生と一緒にまたこの舞台に帰ってこれるようにこれからも一生懸命頑張っていこうと思います。

SSH生徒研究発表会

科学部部长・SS特講Ⅲ 三年六組 伊藤 權

私は今年度のSSH生徒研究発表会で、中部高校の代表として発表をさせていただきました。今年度も兵庫県神戸市で執り行われました。不安や緊張が大きかったですが、実際に会場へ着くと、このイベントがどれほど大きなものかを感じて、どのような他校の発表があるのか、期待が膨らみました。数学や物理の発表を主に見て回り、内容はもちろん、興味を惹く発表の仕方も学びました。発表を聴く内に、他のSSH指定校の人とも親しくなり連絡先を交換したりなど、貴重な体験ができました。

私の発表は、全体の内、二〇校が対象となるポスター賞をいただきました。発表内容にアドバイスをくださった関係者の方々や、このような機会をくださった担当の先生方に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

II-69 0202 北海道函館中部高等学校

生徒研究発表会

循環小数の分和と代数体の整数環への拡張 SSH

1. 序論

$1/7 = 0.142857$

と知られており、この循環を分けて足すと次のようになります。

$142857 \times 900 = 128571000$
 $14 \times 28 = 57 \times 900 = 51300$
 $14 \times 28 + 28 \times 57 = 1272$

これは分母が分母の900に一致する性質を持つことになり、これを分母の900の約数で割ると、これは10進法で表すことができます。

7進法では16を基底とした「0613412105」が循環する。これは16進法であり、分母は16。
 $0613412105 \times 16 = 9782464$ となる。
 (1) 循環小数を16進法で表す。

任意の基底で16の倍数が割り立つこともできず、これは16進法の性質である。

基底16で表した数の循環長は16-1=15(16進法の基底は16の約数の約数の約数)の約数の約数。つまり、16の約数の約数の約数である。

2. 証明

この問題の定義に注意する。同様の方法でこの問題を解くことができる。また、分母が分母の約数の約数の約数である場合、分母の約数の約数の約数である。

3. 拡張 1

この問題の定義に注意する。同様の方法でこの問題を解くことができる。また、分母が分母の約数の約数の約数である。

4. 拡張 2

この問題の定義に注意する。同様の方法でこの問題を解くことができる。また、分母が分母の約数の約数の約数である。

5. 参考文献

数論入門 (日本評論社)
 数論入門 (日本評論社)
 数論入門 (日本評論社)
 数論入門 (日本評論社)
 数論入門 (日本評論社)



宿泊研修

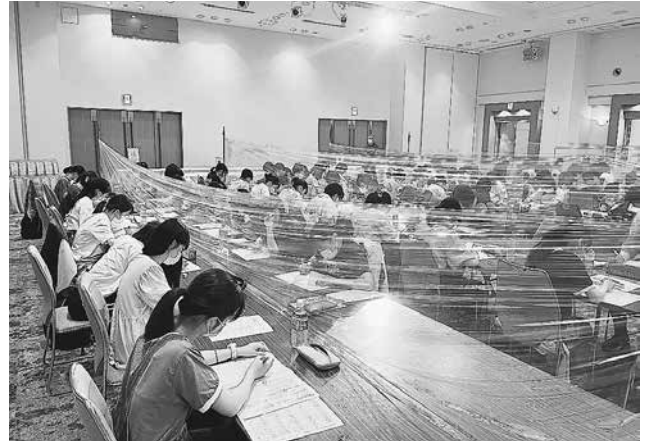
今年度より、実施時期が春に変更になりました。
コロナの感染状況から夏休み前の実施になりました。

<学 習 会>



正三角形から立体物を作ってみよう

<チャレンジテスト>



これまでの隔週の成果がここにある

<野 外 活 動>



駒ヶ岳登山は散歩の気分で楽に登れました!?

<夕 食>



やっぱり、みんな集まったらジンギスカンです

<レクリエーション>



最初は仲間作りから (ソーシャルスキルトレーニング)

進路指導部だより

進路指導部長 中村 徳 秀

2022年度入試における卒業生233名の延べ合格者数は、国公立大学151名、私立大学236名、看護学校を含む専門学校14名で、就職者は公務員1名でした。卒業生の割合でいえば国公立大学への合格率が64.8%となり、3年連続で卒業生の過半数が国公立大学へ進学することとなりました。1975年（昭和50年）からの統計上では、他の進学校に引けをとらない進学率を残せており、地域のニーズに応えられるものとなってきました。また、京都大学1名（4年連続で進学）、北海道大学14名、東北大学1名、弘前大学17名、岩手大学15名の合格実績を残し、まさに、コロナ禍での不撓不屈・堅忍不拔の精神でしっかり最後まであきらめずに果敢に挑戦していった成果であります。在校生にも、高校生活を送る中で、人としての成長とともに、将来設計を踏まえた進路選択をしっかりと取って進路実現に臨んでほしいと思います。

今年度入試は新入試2年目の共通テストということで、数学の平均点が極端に下がった年でありました。第一志望校をそのまま押し進めるべきか否か、ギリギリまでもがいていた姿勢が印象に残っています。

さて、一般選抜を振り返ってみると、私立大合格数は236名と近年増加の傾向にありますが、進学数は3年間70名を下回る人数になっています。依然として、国公立大志向が根強く続いていて、私立大併願をしつつも、共通テストの平均点アップを目指し果敢に難関大に挑戦した様子がかがえます。一方で、少しずつではありますが、コロナ禍から脱して、地元の大学よりも道外地区の大学を選ぶといった、道外進出も戻りつつあります。進学した大学生からも、ようやく対面授業になって楽しいと進路室に報告に来ていました。

また、国公立大・私立大ともに学校推薦・総合選抜の拡大傾向が継続していて、志望理由書、活動報告書の提出が求められる大学も増加しています。本校生は推薦入試に挑む受験生は例年よりも10名ほど少なめの人数となっていました。今後も生徒には学びたい学科選択と自分の志望と実力をしっかりと見極めて出願校を決めて欲しいですし、基本的な事項を深く探究することで学力の幅を広げ、これからの受験勉強をしっかりとこなし、納得のいく進路結果を勝ち取れるように頑張ってもらいたいと思います。

中部高校の教育活動も、SSH指定校3年目となったことで、来年度入試で探究活動結果を入試に活用する機会が増えます。今後も人格の完成をめざし、教育活動を通じて、函中コンピテンシーとの運用につなげ、函館中部高校の伝統は守りつつも、ICTの活用も含めて新たな指導法を取り入れ、より良い教育活動を目指し、しっかりとした足跡を残せるよう頑張っていきたいと思います。今後ご指導、ご鞭撻の程をよろしくお願いいたします。

最近3カ年の大学・短大合格者延数

区 分	令和4年度入試			令和3年度入試			令和2年度入試		
	現役	過年	計	現役	過年	計	現役	過年	計
国 立 大	111	9	120	102	10	112	95	23	118
公 立 大	40	3	43	44		44	42	2	44
私 立 大	236	25	261	259	31	290	168	20	188
その他の大学		1	1	1		1	4		4
短 大				1		1	8		8
高等看護	12		12	16		16	20		20
専修学校	2		2	1		1	10		10
計	401	38	439	424	41	465	347	45	392

【国公立大学】

大学名	現役	過年	大学名	現役	過年	大学名	現役	過年	大学名	現役	過年	大学名	現役	過年
旭川医大	1		横浜国立大		1	長野大	1		仙台大	1		中央大	10	
小樽商大	4	1	新潟大	1		愛知県立大	1		東北学院大	1		津田塾大	1	
北見工大	2		山梨大	1					東北福祉大	1		帝京大	2	
北海道大	14	1	信州大	1					東北医科薬科大	2		東海大	1	1
北教大旭川校	3		静岡大	3					文教大	1	2	東京工科大	1	
北教大札幌校	7		京都大	1					獨協大	1	2	東京電機大	1	
北教大岩見沢校		1	長崎大	1					千葉工大	1	1	東京農大	5	
北教大釧路校		1	琉球大	1					青山学院大	1		東京理科大	4	
北教大函館校	17		はこだて未来大	3					北里大	2		東洋大	3	
室蘭工大	5		釧路公立大	1					桜美林大	1		日本大	6	
弘前大	17		札幌市立大	2	1				慶応大	2		日本体育大	8	
岩手大	15		札幌医大	6					國學院大	2		法政大	8	3
東北大	1		公立千歳科学技術大	4	1				工学院大	2		明治大	8	
秋田大	4		青森県立保健大	3					国士舘大	1		明治学院大	2	
山形大	2		青森公立大	1					駒澤大	1	1	立教大	2	
福島大	1		岩手県立大	2					芝浦工大		1	早稲田大	1	
茨城大	2	1	秋田県立大	1					上智大	1		神奈川大	1	
筑波大		1	前橋工科大		1				順天堂大	2		金沢工大	3	
埼玉大	1	2	高崎経済大	7					昭和薬大		1	中京大	1	
千葉大	1		埼玉県立大	1					成蹊大	3		南山大	1	
東京工業大	1		東京都立大	4					成城大	6		京都外大	1	
東京学芸大	2		横浜市立大	1					専修大	10		立命館大	4	
東京藝術大	1		新潟県立大	1					大東文化大	1		近畿大	2	
一橋大	1		都留文科大	1					多摩美術大	1		関西学院大	1	

令和3年度 白楊ヶ丘同窓会 決算書

財産明細 令和4年6月30日現在
《資産の部》

・現金	0
・郵便貯金 19450-2606231	7,809,326
・未入金	1,258,200
資産の部合計	9,067,526

収支内訳 自 令和3年7月1日 至 令和4年6月30日

《収入の部》		《支出の部》	
新卒業生入会金	1,258,200	旅費交通費	0
総会会費	0	通信費	15,060
白楊だより広告	0	事務用消耗品費	1,097
雑収入	72	支払手数料	1,354
		雑費	1,000,000
		総会懇親会	0
		新卒業生名簿	121,495
収入合計	1,258,272	支出合計	1,139,006
		今期余剰金	119,266
		次期繰越金	¥9,067,526

令和3年度 特別会計

《資産の部》		《支出の部》	
前期繰越金	20,038,178		
繰越金	20,038,178		
受取利息	170		
収入合計	20,038,348	支出合計	0
		今期余剰金	20,038,348

前期繰越金 支出合計 受取利息 次期繰越金
¥20,038,178 - ¥0 + ¥170 = ¥20,038,348

令和4年8月22日 監査 奥山昌弘(75期)印
監査 本間文教(75期)印
監査 山田明夫(76期)印

令和3年度 白楊ヶ丘同窓会函館本部 決算書

財産明細 令和4年6月30日現在
《資産の部》

・現金	0
・郵便貯金 20720-8-102657	439,413
・郵便貯金 19450-04267801	1,570,800
資産の部合計	2,010,213

収支内訳 自 令和3年7月1日 至 令和4年6月30日

《収入の部》		《支出の部》	
年会費	894,000	通信費	39,808
雑収入	200,011	支払手数料	56,960
		発送手数料	102,547
		白楊だより	137,500
		消費税	2,634
収入合計	1,094,011	支出合計	339,449
		今期余剰金	754,562

前期繰越金 今期余剰金 次期繰越金
¥1,255,651 + ¥754,562 = ¥2,010,213

令和4年8月22日 監査 奥山昌弘(75期)印
監査 本間文教(75期)印
監査 山田明夫(76期)印

会計監査	副幹事長	幹事長	副会長	名誉会長	顧問	名誉顧問	白楊ヶ丘同窓会《本部》
山田明夫(76期)	本間昌弘(75期)	奥山昌弘(75期)	室田晴康(75期)	佐竹卓樹(73期)	石井直樹(63期)	田尻勝敏(73期)	
中島悟(73期)	千原治(73期)	小林雄司(73期)	黒田信彦(73期)	古林由則(73期)	富樫一憲(73期)	宮下政明(73期)	
内田忠(73期)	藤原忠(73期)						

80	77	76	75	69	67	65	63	62	61	60	58	57	56	55	54	53	52	51	49	48	45	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	28	16	15	14
期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期	期
末広会	函中77期同期会	76サンフラワー	七五三会	火ばしら会	函館中部志丸会	白楊ヶ丘65会	午未の会	函中さんご会	函中61会	函中三三二会	函中58期同期会	函中57期同期会	福祿会	函中ニッパチ会	五楊会	函中ニョール同期会	玄羊会	どんじり会	九十九会	函中十六會	翠楊会	高楊会	碧楊会	よんまる会	三九会	三八会	十楊会	函中九昭会	函八会	銀楊会	六昭会	昭五会	函中二八会	(昭和54年解散)	十四五六会	としごろ

同期会の愛称
(最新の会員名簿から)

函館中部高等学校校歌

函館中部高等学校教諭 藤原直樹 作詞
函館中部高等学校教諭 酒井武雄 作曲

函館中部高等学校校歌

- 一、火柱のはためく峰も 年古りて緑の臥牛
宇賀の浦風の砂山 波寄せてくずれ流るる
見よや物なべて移ろう 窮みなし流転の相
- 二、北の国雪深けれど その底に草はめぐめり
野山荒れ鳥ひそめども やがて来ん春の光に
万象の蘇る見よ ここにあり不滅の生命
- 三、白楊のさやめく丘辺 秋深き梢仰げば
冴え渡る銀河の彼方 幽けくぞ星雲燃ゆる
胸に満つ久遠の思い 遙かなり真理の彼岸
- 四、限りなき流転の中に 生命あり不壊の学舎
聞けや今窓の外遠く 新潮の入りくるひびき
よしさらば若人我ら 踏まんなかな希望の門途
踏まんなかな希望の門途
踏まんなかな希望の門途

函館中学校校歌

第二高等学校教授 土井晩翠 作詞
東京音楽学校教授 岡野貞一 作曲

函館中学校校歌

- (一) 函館の北の道
関門の岸に踏む
青春の薫り
基おく育英の場。
- (二) 集ひ寄る吾等の子弟
人生の花の統ひ
身を鍛ひば生れり
向上の一路を邁進す。
- (三) 宇賀の浦萬原の水
駒が嶽 千仞の山
傲を積ケル高き山
滴あり空をひたり。
- (四) 形ある無言の教
仰げば紅顔の子弟
業成らば双の肩の上
帝國の道と肩(が)。
- (五) 母校の名子弟の譽
花と香と帯に伴ふ
伝ふる道の味を
嗚呼 使児勉めよや。
以上 土井 晩翠
大正九年 十月 土井 晩翠

